

【ロック・フィールド (2910) : 2016 年 4 月期第 3 四半期決算報告】

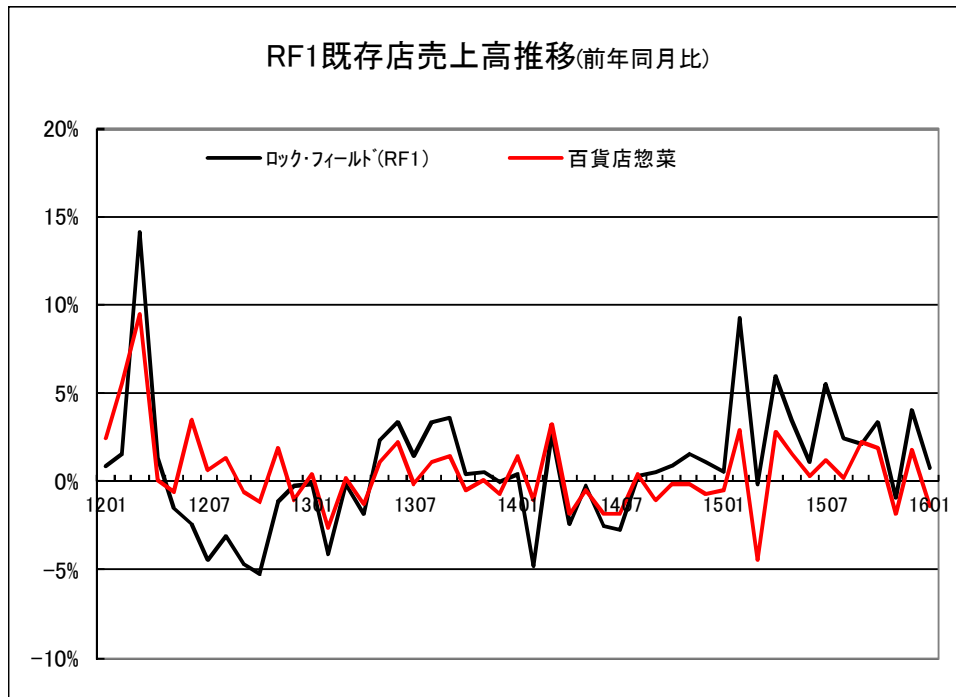
3 月 2 日に公表されたロック・フィールド (2910) の 2016 年 4 月期第 3 四半期決算について報告する。

2016 年 4 月期第 3 四半期累計決算は 2.1%増収、29.5%営業増益と、9 カ月間の会社計画を大きく上回るものとなった。第 3 四半期の 3 カ月のみでも 1.2%増収、17.6%営業増益と好調であった。同社では期初予想対比で上期決算は特に利益面で大きく上回ったが、第 3 四半期決算もその好調が継続したと言えよう。

銘柄名	ロック・フィールド	コード	2910									
株価 (2015年3月2日)	3,090 円			PBR(15/4実)	1.71 倍	ROE	5.5%					
株数	13,280 千株			配当利回り(16/4予)	1.5%							
配当	45 円			54 時価総額	41,035 億円							
発行済み株式数	13,394 千株			株主資本	23,998 百万円							
自己株式	114 千株			BPS	1,807 円							
決算期	売上高	伸率	営業利益	伸率	経常利益	伸率	純利益	伸率	EPS	PER	既存店	
(連結、非連結)	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	倍	(RF1)	
連結 2014/10中間 実績	23,660	-1.3	604	7.5	624	5.2	297	-7.5	22.4	-		
連結 2015/4下期 実績	25,217	1.0	1,372	27.2	1,383	27.3	888	44.6	66.9	-		
連結 2015/10中間 実績	24,272	2.6	888	47.0	903	44.7	543	82.8	40.9	-		
連結 会社予初	24,071	1.7	615	1.8	639	2.4	379	27.6	28.5	-		
連結 2016/4下期 会社予	25,929	2.8	1,262	-8.0	1,277	-7.7	775	-12.7	58.4	-		
非連結 2012/4期 実績	49,158	6.1	2,552	22.2	2,589	22.1	1,438	33.4	108.3	28.5		
非連結 2013/4期 実績	48,827	-0.7	1,950	-23.6	1,988	-23.2	964	-33.0	72.6	42.6		
連結 2013/4期 実績	48,835	-	1,894	-	1,905	-	881	-	66.3	46.6		
連結 2014/4期 実績	48,956	0.2	1,641	-13.4	1,679	-11.9	935	6.1	70.4	43.9		
連結 2015/4期 実績	48,877	-0.2	1,976	20.4	2,007	19.5	1,185	26.7	89.2	34.6		
連結 2016/4期 会社予初	50,201	2.7	2,150	8.8	2,180	8.6	1,318	11.2	99.2	31.1		
連結 2016/4期 H&L予	50,119	2.5	2,510	27.0	2,535	26.3	1,604	35.4	120.8	25.6		
連結 2017/4期 H&L予	51,053	1.9	2,805	11.7	2,825	11.4	1,836	14.5	138.3	22.3		
連結 2014-1Q 実績(3ヵ月)	11,771	-2.7	300	-21.9	321	-16.6	184	-11.5	-	-	-1.9%	
連結 2014-2Q 実績(3ヵ月)	11,889	0.0	304	70.8	303	45.7	113	0.0	-	-	0.6%	
連結 2014-3Q 実績(3ヵ月)	13,368	-0.3	887	18.9	895	20.1	558	27.4	-	-	1.1%	
連結 2014-4Q 実績(3ヵ月)	11,849	2.5	485	45.6	488	43.1	330	87.5	-	-	5.1%	
連結 2015-1Q 実績(3ヵ月)	12,073	2.6	378	26.0	384	19.6	219	19.0	-	-	3.4%	
連結 2015-2Q 実績(3ヵ月)	12,199	2.6	510	67.8	519	71.3	324	186.7	-	-	2.6%	
連結 2015-3Q 実績(3ヵ月)	13,535	1.2	1,043	17.6	1,054	17.8	692	24.0	-	-	1.3%	
連結 2015-4Q 会社計画(3ヵ月)	12,394	4.6	219	-54.8	223	-54.3	83	-74.8	-	-		
連結 2014-3Q 実績(9ヵ月)	37,028	-1.0	1,491	14.0	1,519	13.5	855	12.6	-	-		
連結 2015-3Q 実績(9ヵ月)	37,807	2.1	1,931	29.5	1,957	28.8	1,235	44.4	-	-		
連結 会社計画(9ヵ月)	37,904	2.4	1,600	7.3	1,629	7.2	988	15.6	-	-		

業績好調の背景は、既存店が 1.3%増と堅調であったことに加え、経費や人件費のコントロールを行いながら、効率的な店舗運営を行うことができた結果と考えられる。

2015 年の初旬以降百貨店の惣菜売上高の前年同月比は堅調に推移しているが、同社の主要業態である RF1 の既存店はその百貨店の惣菜の伸び率をコンスタントに上回って好調である。これはこのところ消費者が値上げを容認し、それに対応して同社でも比較的価格が高めの商品の品揃えを強化してきたことによる。



やや先行きに不透明感

ただし、ここにきて先行きに不透明感が漂い始めている。

上期（5・10月）の既存店月次は3.0%増と好調であったが、第3四半期の初月の11月は0.9%減と不調であった。これは2013年10月以降、特殊な要因で月次が伸びた2014年3月と2015年2月を除くと2014年11月の既存店伸び率は1.6%増と最も高かったことがある。それに加えてこの数カ月の中で、小売り、外食も含めて11月の月次は各社不振であった。

同社によるとその不振は12月初旬まで継続したが、12月のクリスマス前から1月にかけては好調に復帰し、12月の既存店は4.0%増と高水準になった。これはここ数年の傾向であるが、普段は節約志向であるが、晴れの日には思い切って消費を行う傾向と考えられる。その後成人式以降は不調になり、1月の既存店は0.8%増にとどまった。

第4四半期に入って、2月も初旬は1月の傾向を引きずって厳しかったが、バレンタイン以降は好調になったため、2月はまあまあの水準で着地した模様。3月はこの傾向が続けばそこそこの水準となる。ただし、同社の場合、やはりややぜいたく商品であることから、景気の影響や株式市場の影響を受けるため、4月以降は全く雰囲気が読めないと考えている。

そのため、通常であれば、最も収益ウエイトが高い第3四半期が終わって、期初計画を大幅に超過している状況であれば、増額修正をするのであるが、今期は4月以降が読めないため、計画を据え置いている。

その意味において、現状も好調であり、先行きに対して悪化の兆しが見えてきたわけではないが、もやもや感がしばらくは続こう。そうは言っても今期に関しては2月が1日多いこともあり、予想外の4月に急減速がなければ会社計画は増額修正となろう。

投資判断

当クラブの予想PERは25.6倍であり、来期も10%強の増益と見て22.3倍とほぼ無理のない水準である。しかし、現状のような全体相場の弱さの中では、同社のみが上値を追う可能性はそれほど高くない。そう考えると、今回に関しては多少株価が上昇するようであれば、いったん売却して、よりディフェンシブ性の強い銘柄に乗り換えることも一考であろう。

週足・売買高チャート



(C)QUICK Corp.

注意事項

当レポートの株式に関する記述は、投資の勧誘を目的としたものではありません。情報の内容も私の観測であり、不確定要素を多く含みます。当該情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社では一切の責任を負いません。投資判断はすべて自己責任にてお願い致します。